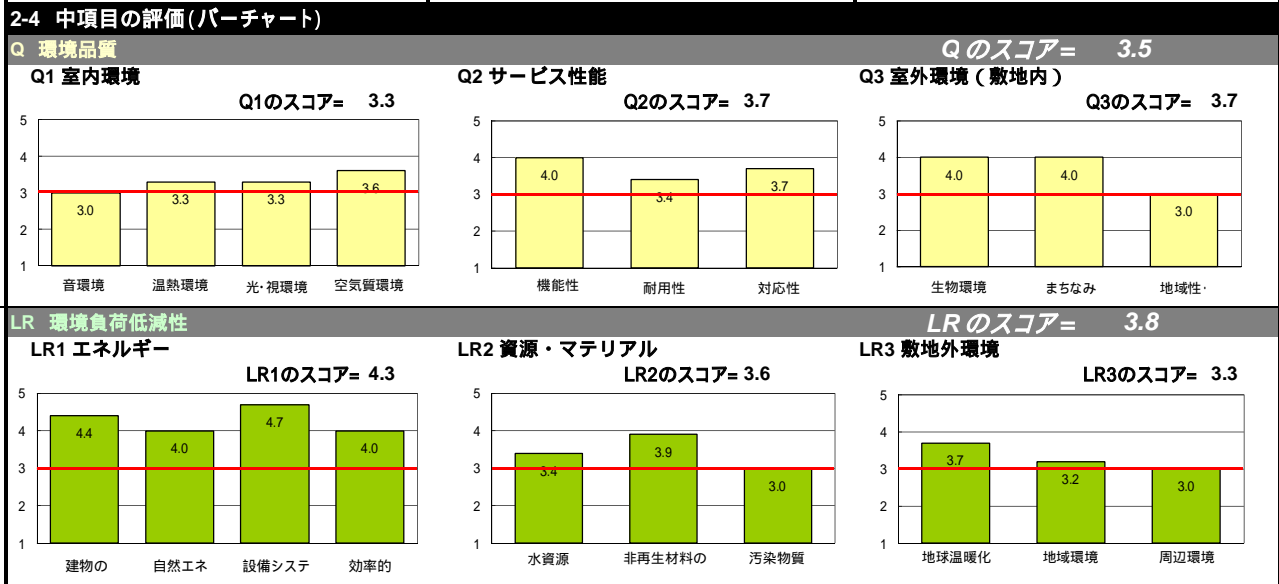
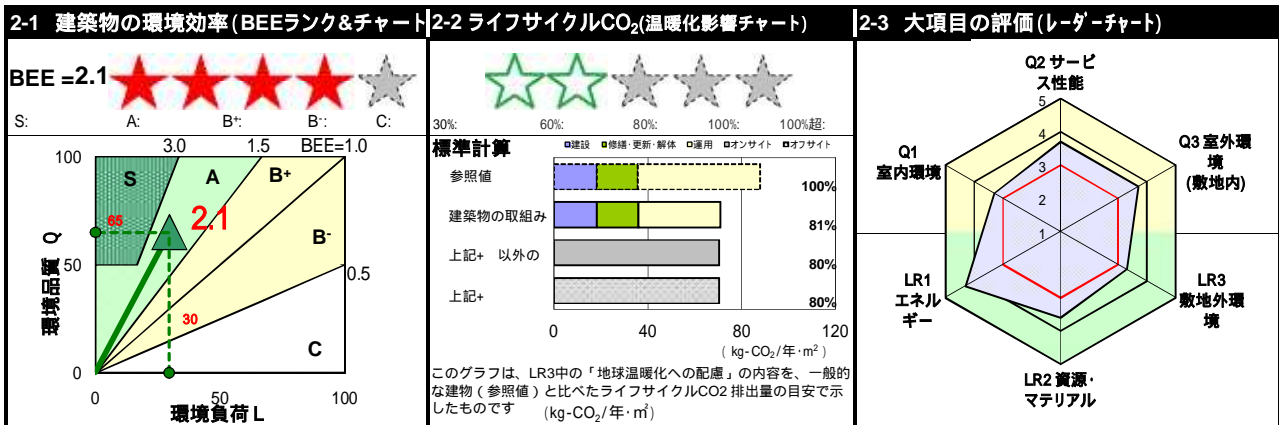


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ものづくりサビストレーニングセンター	階数	地上4F
建設地	藤沢市土棚	構造	SRC造
用途地域	準工業/第一種住居、準防火地域	平均居住人員	220人
気候区分	地域区分	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2013年9月1日
敷地面積	8,218 m <sup>2</sup>	作成者	(株)坂倉建築研究所
建築面積	4,133 m <sup>2</sup>	確認日	2013年9月10日
延床面積	11,349 m <sup>2</sup>	確認者	(株)坂倉建築研究所



3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>いすゞ自動車のマザー工場である藤沢工場の隣接地に研修・教育の拠点をつくる計画。大スパンとシンプル平面構成により、将来の研修内容の変化にも対応できるフレキシビリティと機能性を確保しつつ、環境負荷の少ないサステナブルな施設を目指す。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>騒音の発生する室を防音壁により区画するとともに、座学を中心とする教室を別棟とすることで振動や騒音に配慮する。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>基準法の25%増し耐震性能をもたせ、非常用発電設備を設置し、災害時に備えた施設とする。開放的なラウンジや休憩スペースを設け、充実したアメニティにより、快適な研修を行える施設とする。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b></p> <p>敷地内に高木や植栽帯により積極的緑化し、キャノピー等により日影を作り、敷地内の温熱環境の向上を図る。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>太陽光発電による自然エネルギーの利用、高効率照明器具の採用、パッケージ方式空調の個別運転運用等により、消費エネルギーの低減を目指す。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>リサイクル材料の使用</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>敷地外周には緑地帯を配し周辺環境へ寄与する植栽計画とした。東側の既存樹のある斜面は極力保存し景観の記憶継承を意図している。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと。評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される。